

建設現場の生産性を向上する革新的技術の導入・活用について

2019年3月1日

日本国土開発株式会社

この度、当社は「建設現場の生産性を飛躍的に向上するための革新的技術の導入・活用に関するプロジェクトの公募」において採択されました2プロジェクト（弊社施工現場）の試行業務を行いましたので報告いたします。

【対象技術Ⅰ】：データを活用して土木工事における施工の労働生産性の向上を図る技術

技術名：「建設現場におけるウェアラブルデバイスを用いた作業員のデータ取得及び安全管理システム」

施工現場：国土交通省四国地方整備局 平成29-30年度新町川下部（その3）工事

コンソーシアム代表者：アジア航測株式会社

コンソーシアム構成員：アジア航測株式会社、日本国土開発株式会社、
学校法人関西大学、株式会社関西総合情報研究所、
美津濃株式会社

特設サイト URL：<https://www.ajiko.co.jp/wearableiot/>

（外部サイトへリンクします）

問合せ先：日本国土開発株式会社 土木事業本部 生産技術 G 細井泰行

jdc.civiltech@n-kokudo.co.jp

【対象技術Ⅱ】：データを活用して土木工事における品質管理の高度化を図る技術

技術名1：「スマートセンサ型枠における打設状況の見える化」

技術名2：「コンクリート表面品質のAI画像診断」

技術名3：「MMS（Mobile Mapping System）による出来形管理」

施工現場：国土交通省中国地方整備局 鳥取西道路重山トンネル工事

コンソーシアム代表者：日本国土開発株式会社

コンソーシアム構成員：日本国土開発株式会社、国立大学法人東京大学、
株式会社科学情報システムズ、児玉株式会社、
アジア航測株式会社

特設サイト URL：<http://ieiri-lab.jp/success/2019/02/shigeyama-tunnel-project.html>

（外部サイトへリンクします）

問合せ先：日本国土開発株式会社 西日本土木事業部 佐野健彦

jdc.civiltech@n-kokudo.co.jp